

本市の懸案事業であり、都市施設として欠くことのできない斎場の建設が、本年度いよいよ着工となります。

この施設は、「公園の中の斎場」をテーマに豊かな緑をできる限り多く配置し、地域の環境と調和した景観を持たせ、今までの斎場のイメージを一新するものです。

富士に抱かれ安らかに 富士斎場がいよいよ



△富士斎場の完成予想図

「公園の中

な眠りを

着工

61年9月オープンに向けて

現在、久沢地先にある火葬場(斎場)は、設置以来26年余を経過し、老朽化が著しく、加えて敷地が狭いという条件のもとにあります。

そのため、早期に近代的な施設内容を備えた斎場の建設が急がれていました。

新しい斎場は、景観面においても従来のイメージを一新するとともに、交通、公害対策などにもいろいろと配慮がなされ、61年9月オープンに向けて着工していきます。

こんな対策を講じます

☆**交通輸送対策**——斎場への経路は西富士バイパス側道を利用する交通体系とします。霊柩自動車の運行経路を指定し、地域の道路交通に支障のないように配慮します。

☆**公害発生防止対策**——炉はいずれも1基独立型で、それぞれ再燃炉を設置して、無煙無臭化をはかります。粉じん対策は、スクリーン集じん機を設置して、公害防止対策に万全を期します。

☆**景観保全対策**——「公園の中の斎場」をテーマに、緑を豊富に配し、地域の環境と調和をはかり、富士山麓の自然の中の都市施設として、景観の

保全に努めます。☆**防災対策**——敷地周辺は緑地帯とします。また、造成地内や周辺地の雨水対策として、調整池を築造するなど防災にも万全を期します。

の斎場」をテーマに

1、富士山のように 美しく 自然を愛し きれいな環境をつくります

斎場の計画概要

- ◇所在地 富士市大淵字市十窪2,588番地の1
- ◇敷地面積 20,883平方メートル
- ◇施設の規模
 - ・火葬棟 948.55平方メートル(告別ホール、炉前ホール、炉室、炉制御室、収骨室、霊安室、機械室、休憩室、台車置場)
 - ・管理棟 715.11平方メートル(事務室、会議室、応接室、ロッカー、便所、退出ロビー、倉庫)
 - ・待合棟 1,072.85平方メートル(待合ホール、待合室、機械室、売店、倉庫、ゴミ集積場、控室)
 - ・付属棟 147.84平方メートル(車庫、ポンプ室、残灰庫)
- ◇便益施設
 - ・駐車場 2,825平方メートル(普通車102台、大型車6台)
 - ・道路 3,814平方メートル
 - ・その他 154平方メートル(受水槽、屋外機置場、サービスヤード)
- ◇緑地 10,249.60平方メートル(緑化率約49%)
- ◇調整池 902.10平方メートル(2,400^ト)
- ◇その他の施設 53.95平方メートル(浄化槽、オイルタンク)

斎場の全景

